

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
なお、中間配当を実施するときの基準日は、
9月30日といたします。

定時株主総会 毎年6月下旬開催

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
なお、特別口座に登録された株式に関するお手続き
用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単
元未満株式買取請求取次依頼書等）のご請求につ
きましては、インターネットにより24時間受け付
けておりますので、ご利用ください。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場

公 告 方 法 電子公告により行います。
当社ウェブサイト <http://www.terasaki.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを
得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、
原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ること
となっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ
ください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取
り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、
三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、
上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問
合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店でもお
取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店
でお支払いいたします。

ウェブサイトのご案内
<http://www.terasaki.co.jp>
寺崎電気産業 検索

最新のトピックスを
はじめ、業績報告や
会社情報などをわか
りやすくご案内して
おります。



船舶用システム製品

船舶用市場における配電制御システムで世界のリーディングメーカーとして挑戦する



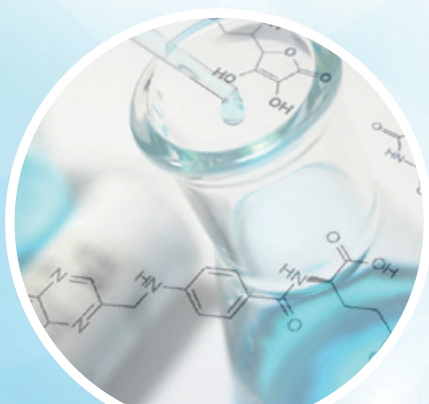
産業用システム製品

産業用市場における配電制御システムで価値ある独自性を発揮する



機器 (プレカ) 製品

世界で最も信頼されるプレカメーカーになる



メディカルデバイス

メディカルデバイスメーカーとして人々の健康と安心に貢献する



エンジニアリング及びライフサイクルサービス

エンジニアリング及びライフサイクル事業を通じて世界中のお客様にソリューションをお届けする

配電制御の革新を続けるテラサキ

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期における当社グループをとりまく経済環境は、国内において、合理化や省力化、設備更新などを目的とした設備投資に加え、デジタル化に向けた非製造業による設備投資が底堅く推移しました。一方、海外においての設備投資は、総じて弱い動きとなりました。当社の主要顧客である造船業界においては、2020年から強化される海洋環境規制への対応に伴う工事が増加しましたが、貿易摩擦等の影響により新造船受注が低調に推移したことから、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期は、船舶用システム製品の陸電供給システム及びLNG船、並びに機器製品が減少したものの、中国の船

舶用システム製品及び海洋環境規制関連が増加しました。

その結果、前年同期と比べ売上高は増加し、営業利益及び経常利益は原価及び経費の低減に努め増益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

2019年度下期も、海洋環境規制関連の更なる受注拡大を見込んでおります。引き続き、「TEAM TERASAKI」としてグローバルに連携強化を行い、様々な顧客ニーズへの的確かつ迅速な対応により顧客満足度を高めることで、5事業それぞれの発展に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019年12月



代表取締役社長
寺崎 泰造

第40期 第2四半期 (累計) 連結決算ハイライト

売上高

16,902百万円

前年同期比 2.3%増

経常利益

804百万円

前年同期比 54.3%増

営業利益

619百万円

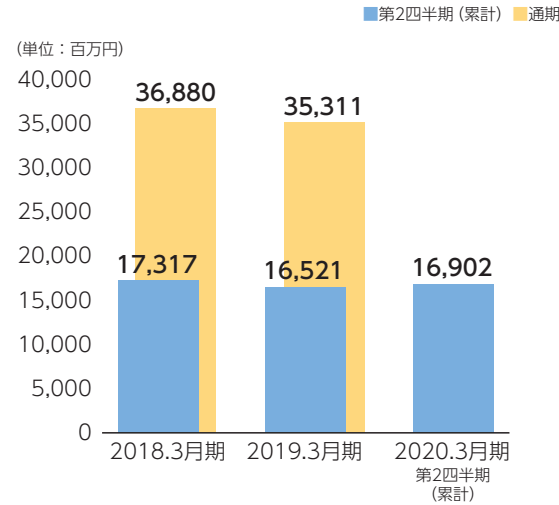
前年同期比 425.7%増

親会社株主に帰属する四半期純利益

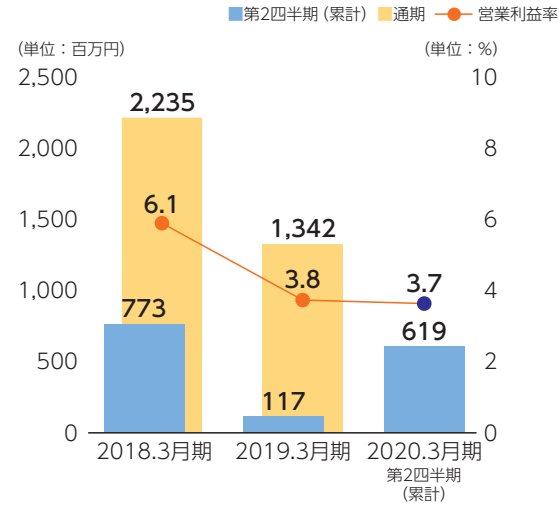
550百万円

前年同期比 26.8%減

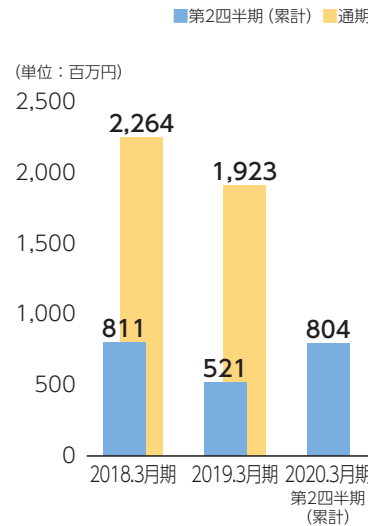
売上高



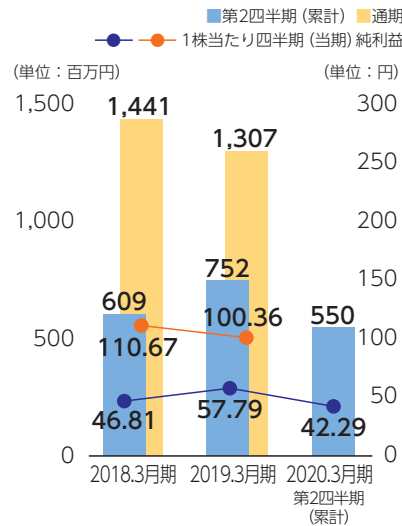
営業利益 / 営業利益率



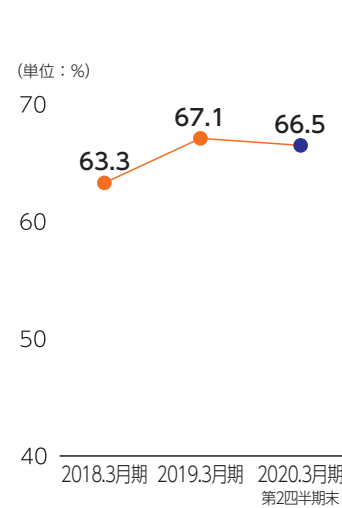
経常利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 / 1株当たり四半期 (当期) 純利益



自己資本比率



(注1) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)
[資産の部]		
流動資産	32,570	31,873
固定資産	12,179	12,331
有形固定資産	8,937	9,288
無形固定資産	165	139
投資その他の資産	3,076	2,903
資産合計	44,749	44,204

(単位: 百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)
[負債の部]		
流動負債	12,546	12,456
固定負債	2,131	2,319
負債合計	14,678	14,775
[純資産の部]		
株主資本	29,427	29,795
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	2,244	2,244
利益剰余金	25,947	26,315
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	607	△402
非支配株主持分	37	35
純資産合計	30,071	29,429
負債及び純資産合計	44,749	44,204

■ 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 (累計) (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 (累計) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	16,521	16,902
売上原価	12,229	12,432
売上総利益	4,292	4,470
販売費及び一般管理費	4,174	3,850
営業利益	117	619
営業外収益	436	291
営業外費用	33	106
経常利益	521	804
特別利益	208	80
特別損失	0	33
税金等調整前四半期純利益	729	851
法人税、住民税及び事業税	236	339
法人税等調整額	△257	△38
四半期純利益	751	550
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	752	550

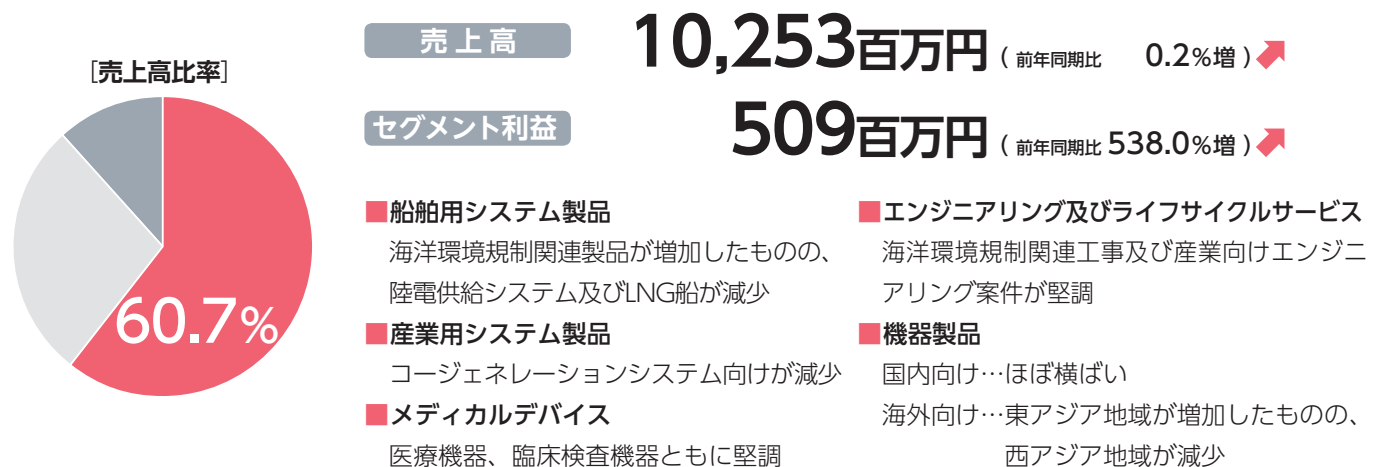
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 (累計) (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 (累計) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	1,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473	△555
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△401
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	481	69
現金及び現金同等物の期首残高	11,768	11,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,249	11,438

所在地別セグメントの概況

日本



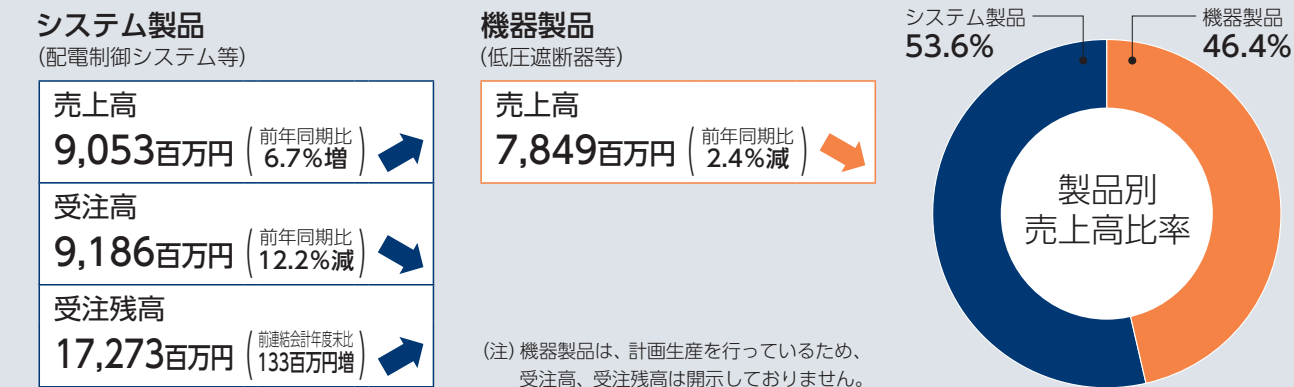
ヨーロッパ



アジア



製品別



TERASAKI ELECTRIC (EUROPE) LTD.

TERASAKI ELECTRIC (EUROPE) LTD.は、1970年11月にテラサキ初となる海外子会社として、英国国内、欧州地域への機器製品（配線用遮断器、気中遮断器）の販売を目的とし、英国のグラスゴーで創業しました。

グラスゴーはスコットランド第二の都市です。当時は造船業や工業が盛んな地域であったため、グラスゴーを欧州の拠点に選びました。現在では、造船業は衰退したものの、産業及び文化の街として発展し、多くの日系企業が進出していますが、そのなかでも、当社がいち早くスコットランドへ進出しました。

当初は製品の輸入・販売からはじまり、やがて、お客様からの仕様、納期等のニーズに合わせて、速やかに対応できるよう現地で製品組立から販売までを行うようになりました。その後、市場の拡大に伴い、担当する地域を欧州のみならず、中近東・アフリカ・中南米・ロシアへと拡大しました。今では、製造、販売、アフターサービスだけでなく、他社の製品調査、市場動向調査を含むマーケティングへとその役割を広げ、将来の製品開発の一役を担っています。



TERASAKI ELECTRIC (EUROPE) LTD.

欧州地域の拠点として活動

当社は欧州地域の拠点として、イタリアのミラノ、スペインのバルセロナ、スウェーデンのストックホルム、アラブ首長国連邦のシャルジャ、チリのサンティアゴに自社の営業所及び出張所を開設し、また、その他の主要国には販売代理店を展開して、それぞれの国及び周辺地域において、営業活動、マーケティング活動を行い、地域に応じた機器製品の販売に努めています。

引き続き、各拠点の充実、新たな拠点の設立、未開拓の国への参入を計画し、さらなる販売拡大を目指してまいります。

ロジスティックセンターとしての機能を充実

販売の拡大とともに、2017年にはロジスティックセンターを竣工し、在庫を充実させて、お客様のニーズにお応えしています。最適な在庫の量・機種を選定、製品組立から検査、出荷までの生産性向上及びリードタイムの短縮を実現すべく活動しています。



Global Service Networkの一員として貢献

テラサキグループのアフターサービス網であるGlobal Service Networkの一員として、納入済製品の補修品供給拠点としてのみではなく、アフターサービスに従事する部門を設置し、販売地域における当社製品の点検サービス、当社製品あるいは他社製品に対してのレトロフィットサービス（新製品への交換）を多く手がけ、信頼性と経済性を両立しつつ、長期的な「安全」・「安心」そして「快適」をお届けしています。

■会社の概要

商号 寺崎電気産業株式会社
 本社 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
 創業 1923年(大正12年)10月1日
 設立 1980年(昭和55年)4月1日
 資本金 12億36百万円
 従業員数 1,935名(連結)
 575名(単体)
 連結子会社 国内5社、海外8社

ISO9001認証
 当社は品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001の認証を取得しています。
 (対象となる事業所)
 ・システム事業：寺崎電気産業株式会社 本社、八尾工場、及び八尾工場板金課加美作業場、東京営業所、九州出張所
 ・機器事業：寺崎電気産業株式会社 本社、加美工場

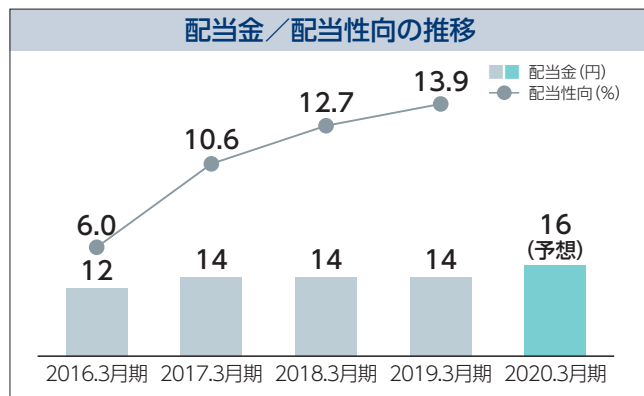
ISO9001及びISO13485認証
 当社のシステム事業医療機器関連組織は、テュフラインランドジャパンからISO9001及び医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格であるISO13485の認証を取得しています。

ISO14001認証
 当社は環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しています。
 (対象となる事業所)
 寺崎電気産業株式会社 本社、八尾事業所、加美事業所
 テラサキ伊万里株式会社、株式会社耶馬溪製作所

OHSAS18001認証
 当社は労働安全衛生マネジメントシステム規格であるOHSAS18001の認証を取得しています。
 (対象となる事業所)
 寺崎電気産業株式会社 本社、八尾事業所、加美事業所
 テラサキ伊万里株式会社、株式会社耶馬溪製作所

■役員

代表取締役社長 寺崎 泰造
 専務取締役 周藤 忠 経理・経営企画・技術・情報開示担当
 専務取締役 岡田 俊二 システム事業担当
 常務取締役 熊澤 和信 人事・総務担当
 取締役 西田 昌央 システム事業船用担当
 エンジニアリング・ライフサイクル事業担当
 取締役 梅本 好弘 機器事業担当
 取締役 小林 裕史 機器事業営業担当
 取締役 長瀬 順治 常勤監査等委員
 取締役 千代田 邦夫 監査等委員(社外)
 取締役 鷹野 俊司 監査等委員(社外)



■株式の状況

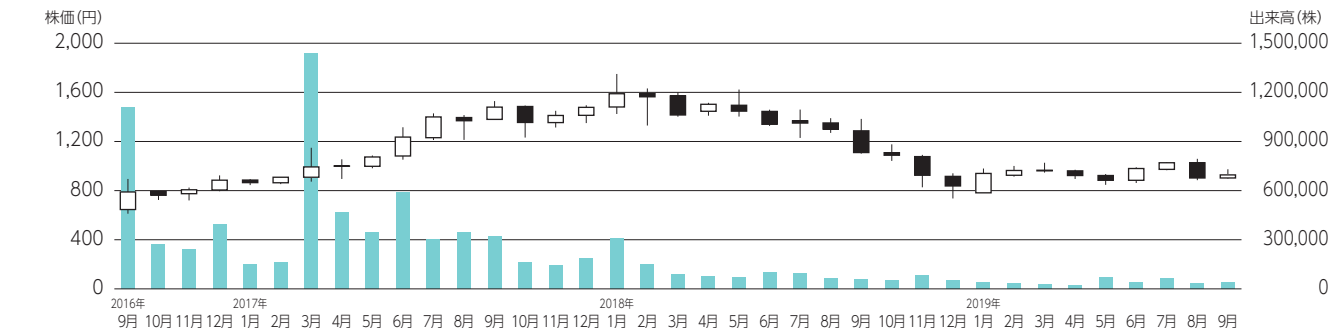
発行可能株式総数 52,000,000株
 発行済株式の総数 13,030,000株
 株主数 820名

■大株主の状況(上位10名)

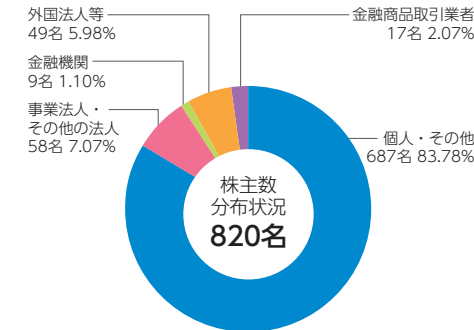
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社寺崎	2,200	16.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,173	9.00
寺崎 泰造	1,118	8.58
テラサキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻 かおり	738	5.66
テラサキ従業員持株会	679	5.21
寺崎 雄造	677	5.19
株式会社芳山社	653	5.01
テラサキ共栄会	507	3.89
有限会社アーク	400	3.07

(注) 持株比率は自己株式(1,021株)を控除して計算しております。

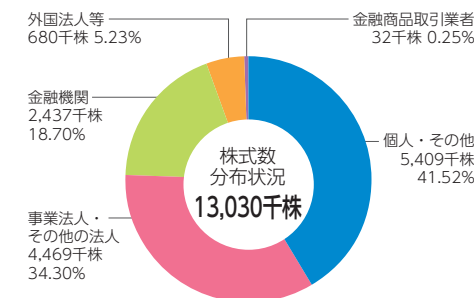
■株価/出来高の推移(東京証券取引所)



■所有者別分布状況



※自己株式は個人・その他に含めて記載しております。



※自己株式(1,021株)は個人・その他に含めて記載しております。